



高品質
タイプ

断熱・結露防止・充てん・遮音・接着・補修工事

シスタ 発泡ウレタン

一液型シリーズ

業務用

建築基準法対応品

JAIA F☆☆☆☆

平成15年7月1日施行の建築基準法の改正に伴い、「ノンホルムアルデヒド製品」としてSista発泡ウレタンは登録しており、使用面積の制限は受けません。

シックハウス症候群対策商品

〈VOC対策品〉

厚生労働省より指針値が示された有害VOC(14物質)を含有しません。



- 硬化後の収縮がほとんどない。
- 不快な結露もほとんど解消。
- 自己消火性のフォーム。
- 簡単に使用できる一液タイプ

吹き付けタイプ シスタ M5230

●壁面への吹付け

●きめ細かな霧状スプレー

●吹き付けタイプ

(チューブ交換により
充てんもできます。)

●充てん用チューブに交換することにより隙間充てんが可能。



充てんタイプ シスタ M5250

上向き使用もできる
360°使用OK

●すき間充てん

- シスタM5250は360°どんな角度でも使用可能。
- 細い所でも充てん可能な細口チューブ付き。
- 充てん専用タイプ。



■ 物性一覧表

● 2種類のチューブ付き
吹き付け用チューブから
充てん用チューブに
交換することにより
充てんもできます。
(M5230)

● 2種類のチューブ付き
細い所でも充てん可能な
細口チューブ付き
(M5250)

使いやすい《一液型》

吹き付けタイプ

※チューブを交換すること
により、充てんも出来ます。

**Sista
M5230**



ホルムアルデヒド基準	JAIA 000460 F☆☆☆☆
チューブの種類	吹き付け用ノズルと 充てん用チューブ
硬化後の密度	約27Kg/m ³
タックフリータイム	約10分 (1)
切断可能時間(硬化時間)	1～2時間(20mm厚) (2)
熱伝導率	0.035W/(m・K) (3)
吐出後の発泡倍率	2～3倍 (4)
硬化後の燃焼性	自己消火性 (5)
発泡容積	約15ℓ/本 (約0.015m ³)
発泡面積 (10mm厚・理論値)	約1.5m ² /本
施工可能長さ(理論値)	20mmX20mmX約38m 40mmX40mmX約9m
耐寒耐熱性	－40℃～＋80℃ (短時間～＋100℃)
耐薬品性(20℃・30日)	変化なし (6)
フォーム色	淡黄白色
梱包入数	12本入
容 量	450g(467ml)
JANコード	4976742256530

使いやすい《一液型》

充てんタイプ

上向き使用もできる
360°使用OK

**Sista
M5250**



ホルムアルデヒド基準	JAIA 000461 F☆☆☆☆
チューブの種類	標準充てん用チューブと 細口充てんチューブ
硬化後の密度	約25Kg/m ³
タックフリータイム	約10分 (1)
切断可能時間(硬化時間)	1～2時間(20mm厚) (2)
熱伝導率	0.035W/(m・K) (3)
吐出後の発泡倍率	2～3倍 (4)
硬化後の燃焼性	自己消火性 (5)
発泡容積	約16ℓ/本 (約0.016m ³)
発泡面積 (10mm厚・理論値)	—
施工可能長さ(理論値)	20mmX20mmX約40m 40mmX40mmX約10m
耐寒耐熱性	－40℃～＋80℃ (短時間～＋100℃)
耐薬品性(20℃・30日)	変化なし (6)
フォーム色	淡黄白色
梱包入数	12本入
容 量	500g(473ml)
JANコード	4976742256622

- (1) 表面のベトつきがとれる時間。
(2) カッターで切断できる時間。(自社測定法による、気温23℃・湿度50%RHの場合)
(3) 熱の伝わりやすさを示す。数値が小さい程、伝わりにくい。
(4) 吐出した量が硬化するまでの倍率。
(5) 不燃性、難燃性ではありません。
(6) 5%塩酸、5%食塩水、5%カセイソーダ、ガソリン、モーターオイルにて各々テスト。

※ 温度、湿度、その他の条件により数値に多少の差異を生じることがあります。
※ 現場で使用する場合は、天候、下地及び施工時ロス等によりバラツキがありますのであ
らかじめ材料の余分を見込んで使用して下さい。
※ フッ素樹脂、シリコン樹脂、ポリエチレン、ポリプロピレン、軟質塩ビには接着しません。

- 注意事項について詳細が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご請求下さい。
- 諸事情により製品の規格・デザインを予告なしで変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 寒冷地でのSista発泡ウレタン 使用の際のご注意

本品は20℃前後での使用が最適です。寒冷期
の使用に際しては、1日以上以上の室温下(20℃前後)
で保管の後ご使用下さい。
ストーブ・バーナー・熱湯
等による強制加温は絶
対にしないで下さい。缶
内圧の急激な上昇によ
り破裂の恐れがあり大
変危険です。



取扱店

代理店